

2010年3月16日号(平成22年)第3156号週刊

全国の読者とともに62年

購読のお申込みは

0120-155103

ホームページ <http://www.jutaku-s.com>

ケータイはこちらから

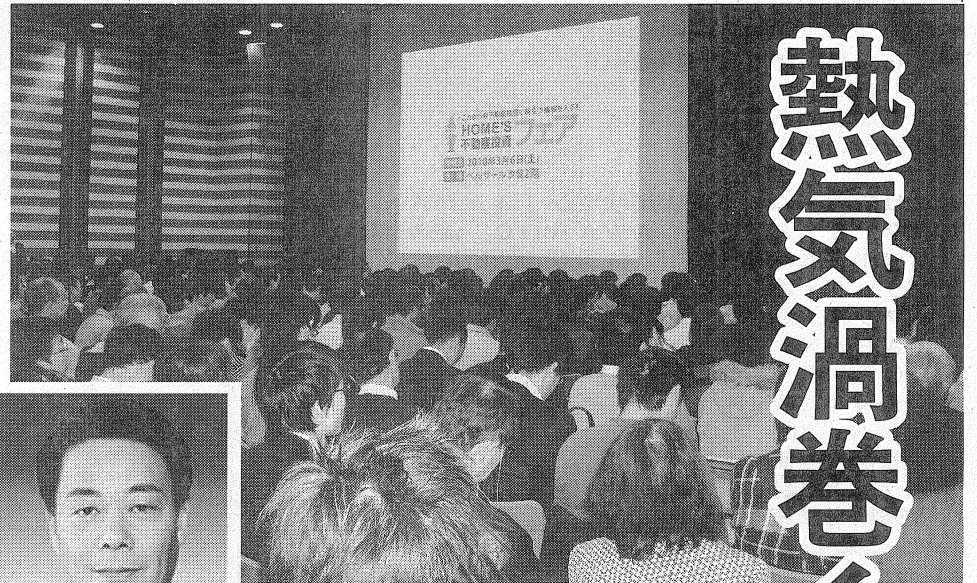


昭和23年創刊

住宅新報

ネクストが3月6日、過去最大規模の「HOME'S不動産投資フェア」をベルサール汐留（東京都中央区銀座8の21の1住友不動産汐留浜離宮2階）で開催、1000人が来場した。不動産会社や銀行など計26社が出展

し、物件取得や融資相談で各ブースは満席に。また、12人の講師陣による講演とパネルディスカッションが2会場で行われ、満員で場内に入れない来場者も出る盛況ぶりだった。（写真はセミナー風景）



熱気渦巻く土曜の汐留

住まい・暮らし・アングル

講師16人がセミナー

民主党・衆議院議員の海江田万里氏（写真⑤）は「日本経済の展望と今後の不動産市場」をテーマに講演。年金問題が浮上する中で自助努力の必要性が生じ、

「私的年金」の考えから不動産投資の優位性に注目が集まっている、と話した。マクロの視点から市場動向を解説した。

「成功するマンション投資は実績7700戸の賃貸管理会社」の考えから不動産投資の優位性に注目が集まっている、と話した。マクロの視点から市場動向を解説した。

ネクスト

「HOME'S不動産投資フェア」**1000人超が来場**

「東京の中古ワンルーム」に絞るメリットを解説した。また、「イールドギャップ2%以上」「借金割合40%」を常に維持する必要性が聞かれた。



「東京の中古ワンルーム」に絞るメリットを解説した。また、「イールドギャップ2%以上」「借金割合40%」を常に維持する必要性が聞かれた。

出展企業の声

「ブースを訪れた人数は50人ほど。若い世代が多く、中には社会人1年目という

00万〜800万円未満が最多で約3割を占め、300万〜500万円がこれに続いた。

参加者の属性をみると、投資経験者が全体の約6割。年収は5

男性もいた。アジア系の外国人ユーザーも目立った。投資経験者は、中古ワンルームの区分所有物件と新築の1棟買いにニーズが二極化していた印象がある。『勉強のため（来場した）』という初心者も多かった。



⑤は会場ビル。⑥不動産会社や銀行のブースに多くの来場者が訪れ、物件や融資情報を収集していた。

